

# 栃木県職員ガイド2018



創り出す!  
とちぎの未来!

栃木県人事委員会ホームページ

栃木県職員採用

検索

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>



VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ



# 知事メッセージ

私たちのふるさと“とちぎ”は、四季折々の美しい自然、世界遺産「日光の社寺」に代表される歴史と文化、豊富な温泉、美味しい水、そして生産量50年連続日本一のいちごをはじめとする多彩な食などの魅力にあふれています。

また、都心へのアクセスが良く、多様な産業がバランス良く発展し、特にものづくり県として「MADE INとちぎ」の製品が世界で活躍するなど多くの実力も兼ね備え、一人当たりの県民所得は全国第4位と上位に位置しています。

さらに、地震や台風などによる自然災害のリスクが少ないことから、住む人が豊かさや快適さに加え、安心も実感できる県でもあります。

現在、我が国は、かつて経験したことのない人口減少社会を迎え、経済のグローバル化の進展など時代の大きな変化の中にあります。県民の皆様が未来に向かって夢と希望を描き続けられるようにしていくためには、本県の魅力・実力に更なる磨きをかけ、就職、結婚、子育てはもとより、とちぎで働き、暮らす様々な場面において「選ばれるとちぎ」の実現が必要です。

「栃木県職員ガイド」はこうした“とちぎの未来”を切り開いていくために活躍している栃木県職員を紹介するとともに、その業務等に対する理解を深め、仕事のやりがいを感じていただくために作成したものです。

とちぎを元気にしたいという思いを持つ皆さん。“とちぎの未来”を私たちとともに創り出しましょう。

平成29年12月

栃木県知事 福田 富一

## ようこそ 釜飯倶楽部へ



若手職員の新しい発想・感覚を積極的に県政に活かすため、私と若手職員が直接話し合う「釜飯倶楽部」を開催しています。これまで、「県庁ライトダウンデー（残業をしない全庁一斉消灯日）」や「県庁舎での結婚式」など、倶楽部から生まれた様々なアイデアを実現してきました。

倶楽部では、職員は若干緊張しているものの、その瞳は輝きを放っており、自然と私も気合いが入ります。一人ひとりの発言に耳を傾け、職員とキャッチボールをしていると、あっという間に制限時間となります。延長戦の懇親会では、「釜めし」と「地酒」を食します（まさしく「同じ釜の飯を食う」です）。徐々に職員の本音トークが始まると、何気ない会話

の中に「ハッ」と思うことも。若い職員と語り合う時間は実に楽しく、エネルギーをもらえます。参加者には、いろいろな人のさまざまな考えを吸収し、横のつながりも大切にしながら、最前線で活躍してほしいと願っています。

これからの時代「元気なとちぎ」を創っていくには、若い世代の感覚が必要不可欠です。これからも、倶楽部からどんなアイデアが出てくるのか大いに期待しています。このガイドを手にした皆さん、ぜひ、チーム栃木県庁の一員として釜飯倶楽部でお会いしましょう！



## 栃木県が求める人材

高い意欲と実行力を備えた 「挑戦する職員」

栃木県職員としての使命感を持った 「信頼される職員」

県民起点の発想で、県民と連携協力できる 「協働する職員」

# 栃木県重点戦略 とちぎ元気発信プラン 2016-2020

中長期的な展望のもと、とちぎの目指すべき将来像を描き、その実現に向け、県民の皆様と共有すべき基本的な考え方や目標を明らかにするとともに、5年間に県が行う仕事の進め方などをお示しする県政の基本方針です。

とちぎの目指す将来像「人も地域も真に輝く 魅力あふれる元気な“とちぎ”」をより確実に、より効果的に実現していくため、すべての活動の原動力となる「次代を拓く人づくり戦略」を第1の柱とする5つの重点戦略のもと、とちぎを元気にする18のプロジェクトを展開しています。

One for とちぎ!!

とちぎ for one!!

## 重点戦略 1

### 次代を拓く人づくり戦略

- 1 未来を創る「とちぎ人」育成プロジェクト
- 2 夢をつむぐ子ども・子育て支援プロジェクト
- 3 輝く女性活躍推進プロジェクト
- 4 感動共有スポーツ推進プロジェクト

## 重点戦略 2

### 強みを生かす成長戦略

- 1 とちぎの産業躍進プロジェクト
- 2 とちぎを支える企業応援プロジェクト
- 3 とちぎの農林業成長プロジェクト
- 4 観光立県とちぎプロジェクト

## 重点戦略 3

### 暮らし安心健康戦略

- 1 健康長寿とちぎづくりプロジェクト
- 2 安心の医療・介護確保推進プロジェクト
- 3 共生社会実現プロジェクト
- 4 暮らしの安心実現プロジェクト

とちぎの  
将来像

人も地域も真に輝く  
魅力あふれる元気な  
“とちぎ”

## 重点戦略 4

### 快適実感安全戦略

- 1 災害に強いとちぎの基盤づくりプロジェクト
- 2 暮らしやすい「まち」づくりプロジェクト
- 3 持続可能なエネルギー社会実現プロジェクト

## 重点戦略 5

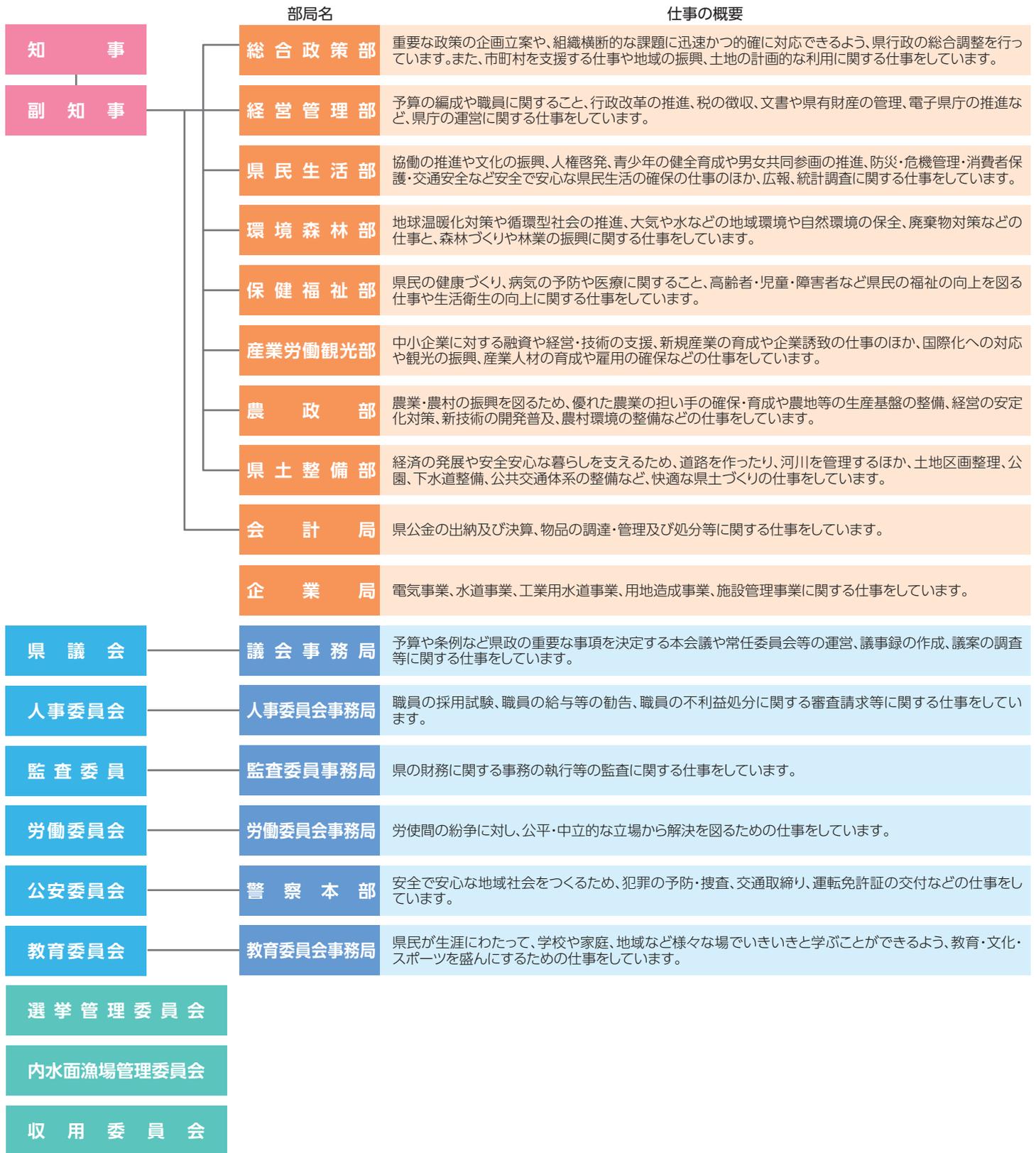
### 誇れる地域づくり戦略

- 1 魅力あるとちぎの地域づくりプロジェクト
- 2 とちぎの文化創造プロジェクト
- 3 とちぎの誇りプロジェクト

様々な形で複数の職種の職員が一致団結し、“とちぎの未来”を創っています!



# 栃木県庁の組織



## 職員数・組織数 (平成29年4月1日現在)

●職員数

一般行政部門……4,311人  
警察部門……3,849人

教育部門……15,102人  
公営企業部門……529人

●組織数(知事の事務部局)

本庁 …………… 8部1局63課室  
出先機関 ……… 74

主な職種を掲載しています！  
ここにない職種もあります！

# 栃木県職員職種一覧

職種 (職員数 H29.4.1現在)	主な業務内容	主な勤務場所
P6・7に 掲載 <b>行政</b> (2,668人)	各種施策の企画立案や事業の推進、予算編成・執行、庶務、県税の賦課徴収、公共事業用地の買収交渉、許認可、市町指導など、様々な分野で幅広い業務に従事します。	知事部局・教育委員会事務局・企業局等の本庁各課、出先機関、県立学校
P8に 掲載 <b>薬剤師</b> (93人)	医薬品・医療機器等製造業や薬局などの監視指導、麻薬・覚醒剤の取締り、食品・生活衛生監視、食品・医薬品の検査研究、県立病院での調剤業務を行います。	薬務課、生活衛生課、健康福祉センター、保健環境センター、県立病院
P7に 掲載 <b>化学</b> (110人)	産業廃棄物や地球温暖化などの環境問題に関する企画立案や指導、水質・大気の常時監視や検査を行うほか、地域企業に密着した各種の研究業務を行います。	環境森林政策課、地球温暖化対策課、環境保全課、廃棄物対策課、環境森林事務所、保健環境センター、産業技術センター
P7に 掲載 <b>農業</b> (354人)	農業施策の企画立案、農地の利用集積や農業の担い手の確保・育成、新品種及び農業生産技術の開発などの試験研究のほか、新技術や経営改善の普及指導などを行います。	農政部各課、農業振興事務所、農業試験場、農業大学校、農業環境指導センター
P9に 掲載 <b>畜産</b> (67人)	畜産物の生産拡大、流通加工促進、ブランド力強化など畜産業振興施策の企画立案や、生産技術指導、試験研究の業務に従事します。	畜産振興課、農業振興事務所、畜産酪農研究センター
P6に 掲載 <b>林業</b> (185人)	森林資源を維持し、林業の基盤づくりや県産材の利用促進、しいたけなどの特用林産物生産振興などのほか、貴重な自然環境の保全などの業務を行います。	環境森林政策課、自然環境課、林業木材産業課、森林整備課、環境森林事務所、林業センター
P8に 掲載 <b>総合土木</b> (127人)	平成24年度から、それまでの「農業土木」と「土木」を統合した「総合土木」という区分により採用試験を実施しています。採用された者は、主に下の「農業土木」又は「土木」の業務に従事します。	主に下の「農業土木」又は「土木」の勤務場所に勤務します
<b>農業土木</b> (117人)	農業の生産性向上や豊かな農業農村空間の形成のため、ほ場整備や農道・農業水利施設の整備保全、農村振興、農村環境整備などに取り組んでいます。	農村振興課、農地整備課、農業振興事務所
<b>土木</b> (397人)	道路・河川の整備や保全、街路・下水道事業の推進や、区画整理や開発行為などの都市計画上の指導・認可を行うなど、社会資本形成の一翼を担っています。	県土整備部各課、土木事務所、公園事務所、下水道管理事務所、企業局
P7に 掲載 <b>建築</b> (72人)	市街地の再開発など都市機能の向上に関する施策や、県有施設建設の設計・施工・監理や宮繕業務、建築指導などに携わります。	建築課、住宅課、都市計画課、土木事務所
P9に 掲載 <b>電気</b> (91人)	発電所や水道施設の設備の設計・施工や運転・保守管理、新規電源開発などのほか、地域企業向けの研究業務、県有施設の宮繕業務を行います。	企業局(電気課、水道課、水道事務所、今市発電管理事務所)、産業技術センター、建築課
<b>機械</b> (63人)	県有施設の設備の設計や宮繕などの維持管理のほか、試験研究機関での技術研究や産業技術専門学校において技術者の育成などを行います。	建築課、計量検定所、産業技術センター、産業技術専門学校、企業局
<b>心理</b> (46人)	児童相談所などにおいて児童、障害者、保護者などに対し「心のケア」の面から相談、指導、心理判定などの業務に従事します。	児童相談所、精神保健福祉センター、那須学園、県立病院
<b>水産</b> (15人)	水産業振興のための企画立案や、養殖生産技術の研究・開発、良好な水域環境及び生態系の保全技術確立のための研究などを行います。	生産振興課、水産試験場
P8に 掲載 <b>保健師</b> (121人)	地域のニーズに応じた健康相談、健康教育、各種指導等を企画立案し、実施します。県民の心と身体の健康を守る仕事です。	医療政策課、健康増進課、健康福祉センター、衛生福祉大学校、県立病院
<b>臨床検査技師</b> (47人)	病院で臨床検査に従事するほか、健康福祉センターや研究機関において、水質検査や食品検査など公衆衛生に関する検査を行います。	県立病院、健康福祉センター、保健環境センター
<b>管理栄養士</b> (19人)	病院における患者の栄養管理等のほか、健康福祉センター等で、県民の生活習慣病予防や健康増進のための指導、給食施設への栄養管理の指導などを行います。	健康増進課、県立病院、健康福祉センター
<b>栄養士</b> (県立学校勤務3人)	献立作成や調理場の衛生管理、栄養や食に関する指導を行います。学校では、子どもたちの成長をサポートします。	特別支援学校、定時制高校
<b>栄養士</b> (小・中学校勤務169人)	※小中学校等勤務の栄養士は、勤務する学校等の属する市・町の職員になります。	市町立の小学校、中学校、義務教育学校、給食センター
<b>司書</b> (9人)	図書館において、各種図書館資料の選定、収集、分類、貸出しや読書案内、相談等の業務に従事し、利用者のニーズに対応したサービスを提供しています。	県立図書館
<b>保育士</b> (26人)	児童相談所や児童自立支援施設において、児童の生活援助、学習・体育指導などに従事します。	児童相談所、那須学園
P9に 掲載 <b>職業訓練指導員</b> (38人)	産業技術専門学校等において、就職等に必要の技能・技術の指導や、就職支援等の職業訓練指導の業務に従事します。	労働政策課、産業技術専門学校
P6に 掲載 <b>獣医師</b> (134人)	家畜伝染病対策をはじめとする家畜の保健衛生に関する指導・防疫、試験研究や食肉検査、動物愛護指導、食品衛生指導などの業務を行います。	生活衛生課、畜産振興課、家畜保健衛生所、健康福祉センター、食肉衛生検査所、動物愛護指導センター、畜産酪農研究センター
P9に 掲載 <b>警察行政</b> (464人(定数))	警察内の会計事務や情報管理、装備品の調達、鑑識業務、各種申請の受理審査業務等を行います。いずれも警察活動を推進する上で、重要な役割を担っています。	警察本部、警察署、運転免許センター、警察学校
<b>小中学校事務</b> (551人)	給与事務や各種手当の認定、予算の執行・管理を行います。学校運営を側面から支える仕事です。 ※小中学校事務職員は、勤務する学校の属する市・町の職員になります。	市町立の小学校、中学校、義務教育学校



# 職種紹介

県庁には様々な職種の職員がいて、多種多様な行政課題に取り組んでいます。それでは、県庁で活躍している職員を紹介します。具体的な業務内容をイメージする際の参考にしてください。まず初めは、4人の若手職員の声をお届けします。

Norihiro Yabe

林業

矢部 礼拓

環境森林部 林業木材産業課  
生産力強化担当  
平成24年度採用

異動経歴

H24～ 県北環境森林事務所  
森づくり第二課  
H27～ 東北三県災害復興派遣(福島県)  
H28～ 現所属



Ayumi Komori

行政

小森 亜弓

保健福祉部 こども政策課  
子育て環境づくり推進担当  
平成24年度採用

異動経歴

H24～ 真岡土木事務所 総務課  
H27～ 現所属

Haruka Saito

農業

齊藤 良佳

農政部 農業環境指導センター  
防除課  
平成27年度採用

異動経歴

H27～ 現所属

Yuta Niimura

行政

新村 友丈

県土整備部 栃木土木事務所 用地部  
用地第二課  
平成29年度採用

異動経歴

H29～ 現所属

## <入庁前と入庁後>

**小森** 今年入庁した新村さんは、どんな業務を担当しているの？

**新村** 新しい道路や歩道を造ろうとした際に、その計画にある土地の買収や物件の移転を権利者の方々にお願いに向う、用地事務という仕事を担当しています。入庁前は、デスクワークが多くて任された仕事を淡々と進めるイメージが強かったけど、実際は人と接することが多い仕事だということを実感しました。

**小森** そうですね。私も、人との繋がりを大切に仕事をしています。

**矢部** 確かに、仕事は人との繋がりがみんなの力を合わせる事が大切だね。僕も、周囲の職員や民間団体など、大勢の方々の協力をいただけたからこそ、担当していた大きなイベントを成功させることができたと思っています。入庁3年目になった齊藤さんは、どうですか。

**齊藤** 私の仕事は県内農作物における病害虫発生状況の調査など、専門的な知識や経験を求められるため、新採の頃は難しい仕事だと思いました。でも、職場の先輩が一つずつ教えてくれて何とかやれてます。

**矢部** 僕もそうだったな。大学で学んだ知識が現場では通用しないこともあって、右も左も分からない状態でのスタートだったことを思い出します。今は一人で出来る仕事が増えつつ増えてきたけど、悩んだ時はすぐに先輩に相談するようにしています。

**新村** 僕も、同じ職場の先輩はもちろん、別の職場で同じ仕事をしている同期とも連絡を取り合ったりしながら仕事を進めています。

## <異動は不安?>

**齊藤** 私は3年目になって、異動が気になってきました。実際、異動してみてどうでしたか？

**小森** 入庁した時の期待と不安が入り混じったものとはまた違う緊張がありました。業務にも環境にも、とにかく「慣れる」ことに一生懸命でした。ただ、そういった不安がある一方で新しい仕事に携われることへの期待もあって、心機一転頑張ろう!と思いました。

**矢部** 僕は、これまでは工事などのハード事業を担当してたけど、今は人

材育成や普及啓発などのソフト事業が主で、事業の進め方や考え方の違いに戸惑うこともありましたが、業務が大きく変わったとしても、これまでの経験が何らかの形で役立つから、前の職場でのことが全く無駄になることはなかったですね。

**新村** 行政職も技術職も、色々な職場に配属されると聞いています。今までと全く違う仕事することに少し不安も感じます。

**小森** そうだね。でも、周りの先輩方が必ずサポートしてくれるので大丈夫!私も不安や悩みは一人で抱え込まないで、先輩に相談するようにしています。

**齊藤** 私も異動先でうまくやれるか、職場に馴染めるか不安でしたが、お二人の話聞いて少し安心しました!

## <それぞれの心がけ>

**矢部** 日頃、どんなことを心がけて仕事をしているの？

**齊藤** メモをとることです。特に新しい仕事をする時は、何が必要で何が不必要なことなのか分からないので、とにかく書き込んでます!自分でできることを増やしたいので、先輩に一度訊いたことは忘れないように心がけています。

**新村** 僕は、常に学ぶ姿勢を持つことを心がけてます。まだまだ分からないことが多いので、自分から積極的に上司や先輩に訊くようにしています。

**矢部** そうだね。どちらも大切なことだと思うし、仕事の基本として、今のうちに身に付けておきたいことだね。

**小森** 私も6年目になったけど、そういう姿勢で仕事に取り組んでいます。

**齊藤** 先輩のお二人は、他に心がけていることはありますか？

**小森** 一つ一つの仕事に対して真摯に取り組むことはもちろん、県民の方や職場の方への心配りというものも大切にしながら、業務に臨んでいます。

**矢部** 僕も仕事をする中で、時には相手方の意向と対立する意見を言わなくてはいけない場面もあるけど、県民の視点に立って誠実に対応するように心がけています。

**小森** 県庁の仕事は幅広くて、業務内容が変わることもあるけど、どんな仕事に対しても前向きな気持ちで臨めたらいいですね。



## 人との出会いが成長の糧に

### Q.現在の担当業務は？

若者の社会貢献活動参加を促進するためのイベント開催や、NPO法人の指導監督、とちぎボランティアNPOセンター(ぼぼら)の運営を担当しています。「ぼぼら」の運営は受託者と県とが、対等に、互いの特性を活かしながら協働して行っています。事業を通して、立場の異なる者とのつながりにより新たな効果が生まれることを実感し、多くの人にその輪が広がるよう意識しながら取り組んでいます。



### Q.女性が働きやすい職場？

些細な事でも相談できたり、みんなでランチに出かけたりと、とても風通しの良い職場です。また、子どもの通院や行事などの休みも気兼ねなく応じていただいています。妊娠中、仕事と家庭の両立に悩んだこともありましたが、上司や同僚から温かい声かけをたくさんいただき、無理せず自分に出来る精一杯のことをやろう、と前向きな気持ちになることができました。

### Q.どのような心構えで仕事をしてる？

定期異動の度に新しい仕事を覚えるのは大変ですが、これまでの業務経験や知識をもとに、「去年と同じ」ではなく、その事の根拠や背景を理解しながら仕事を進めることを大切にしています。また、子どもの急な病気の場合でも仕事への影響を最小限に抑えるため、計画的・効率的な仕事を心がけています。



## 行政

Yukiko Kobayashi

### 小林 友紀子

県民生活部 県民文化課  
県民協働推進室  
平成15年度採用

#### 異動経歴

- H15～ 塩谷農業振興事務所 管理課
- H18～ 医事厚生課 地域医療担当
- H23～ 県立産業技術専門学校 総務課
- H29～ 現所属



## 林業

Tomohito Ishitsuka

### 石塚 公人

環境森林部 県東環境森林事務所  
森づくり課  
平成16年度採用

#### 異動経歴

- H16～ 鹿沼林務事務所 治山林道課
- H19～ 環境森林政策課 地球温暖化対策室
- H21～ 森林整備課 森林保全担当
- H26～ 矢板森林管理事務所 森づくり課
- H29～ 現所属



## 森林を拓き、とちぎを拓き、未来を拓く

### Q.現在の担当業務は？

台風などで被災した森林を治山ダムなどの構造物で復旧するとともに、間伐等により森林の機能を高め、災害を未然に防ぐ治山事業を担当しています。現在、ダムを始めとした構造物を作る仕事を担当していますが、自らも設計・監督に携わり、様々な関係機関の方と協力しながら完成させた構造物が将来にわたって形として残る仕事に、責任と大きなやりがいも感じています。



### Q.仕事をする上で心がけていることは？

林業職の仕事の1つに林業普及指導員というものが有ります。森林林業に関する制度について、森林所有者の方に分かりやすく情報提供し、活用を促進するものですが、この仕事は制度を理解しているだけでなく、人と人を繋ぐコミュニケーション力も求められます。研修などに参加し、幅広い知識や技術を習得することを心がけています。

### Q.子育てはどんなことを？

私には三つ子がいます。平日は私が子どもの食事・風呂・寝かしつけをするなど、共働きの妻と分担して家事を行っています。また、子どもが生まれた時に1年間の育児休業を取得させていただきました。初めての経験ばかりでしたが、地域の方々や知り合いになったり、パパ友ができたりと充実した日々を過ごすことができました。県庁は、育児に関する制度も充実しており、男性職員の育児参加にも配慮がある職場だと思います。



## とちぎの公衆衛生をささえるエキスパートに

### Q.現在の担当業務は？

安全で衛生的な食肉が流通するように、家畜に病気や異常がないか、1頭ずつ検査しています。検査は、生体検査(家畜の歩き方や外観検査)から解体前後検査(食肉や各臓器毎に異常の有無を検査)まで多岐にわたります。また、検体(病変や血液)を採取して精密検査やBSE検査、放射性物質のスクリーニング検査等も実施しています。



### Q.やりがいを感じる時は？

牛肉や豚肉として流通する家畜を1頭ごとに検査することが「食の安全・安心と信頼を支えている」ことを実感した時です。安全な食肉を県民の方の食卓に届ける責任とやりがいを感じるとともに、自分の判断した結果が与える影響を自覚しながら、正しい判断ができるよう常に知識と技術の蓄積を怠らないように努めています。

### Q.民間の獣医師との違いは？

民間では動物病院等で「動物」の健康を守ることが主な仕事ですが、公衆衛生獣医師は「人」の健康を守るのが大きな役目です。そのほか、診療獣医師への関係法令の遵守や、知識・技能の普及などによる畜産関係者との連携、協力体制の構築等により防疫体制の確立なども図ります。



## 獣医師

Tadanobu Ouchi

### 大内 忠信

保健福祉部 県北食肉衛生検査所 検査課  
平成19年度採用

#### 異動経歴

- H19～ 県北健康福祉センター 生活衛生課
- H23～ 生活衛生課 食品安全推進班
- H26～ 現所属



# 行政

Katsumi Katabira

## 帷子 克巳

経営管理部 行政改革推進室  
行政改革推進担当  
平成15年度採用

### 異動経歴

H15～ 大田原土木事務所 用地第一課  
H16～ 大田原土木事務所 用地第二課  
H18～ 文書学事課 私学・宗教法人担当  
H22～ 農地整備課 管理指導担当  
H25～ 大田原市へ派遣  
H27～ 現所属



### 「とちぎの未来」への羅針盤を創ります!

#### Q.現在の担当業務は?

県の行財政改革を着実に推進するため、県から市町への権限移譲や民間活力の活用に向けた仕組みづくりを行っています。住民に身近な市町で行政サービスが受けられるようにしたり、民間事業者の有するノウハウを県有施設の管理運営などに取り入れたりすることで、県民サービスの向上が図られるよう取り組んでいます。



#### Q.印象に残っていることは?

交流派遣職員として2年間大田原市に勤務しました。県の組織や業務を客観的に見つめ直すとともに、より住民に身近な市町村業務を経験する良い機会となりました。また、県は市町と協力しながら事業を進めていく場面が多く、市職員の方と知り合えたことは大きな財産となっています。

#### Q.リフレッシュにはどんなことを?

長男が吹奏楽部でクラリネットを担当しており、コンクールや発表会での演奏を聴いて癒やされています。私もかつてクラリネットを吹いていたので練習に付き合うこともあるのですが、子どもの方がはるかに上達しており、むしろ指導される立場です…。

# 農業

Akiko Kubo

## 久保 晶子

農政部 経営技術課 普及情報担当  
平成20年度採用

### 異動経歴

H20～ 農業試験場 野菜研究室  
H23～ 上都賀農業振興事務所 野菜課  
H26～ 現所属



### 様々な角度から農業に関わることができる

#### Q.これまでどんな業務を担当?

農業試験場では、野菜の栽培技術に関する試験(トマト、ブロッコリー、ネギなど)を担当しました。農業振興事務所では、主にトマトやアスパラガスの生産農家の巡回や、栽培指導講習会など農業振興に携わる業務を行いました。現在は、農産物の知的財産に関する業務に携わり、農業試験場で育成された新品種の品種登録や、他にも特許権や商標権の管理に関わっています。



#### Q.「協働する職員」として実践したことは?

農業の6次産業化に関するイベントにおいて、農業者だけでなく菓子店とも協力しながら、地元の農産物を使った新たな商品を開発するプロジェクトを行いました。県民と連携協力することの意義を感じた、貴重な経験でした。

#### Q.仕事と子育ての両立は?

急な業務や家庭の事情で仕事が予定どおりにいかないこともよくあるので、「できることはできるうちに」を心がけています。子どもの体調不良で急に休まなければならないこともありますが、職場の皆さんに助けていただいています。また、先輩に子育てなどのアドバイスもいただけて、心の支えになっています。県庁は子育て環境も充実しているので、仕事と家庭の両立について様々なサポートを受けられる職場だと思います。

# 建築

Kazuhisa Nakui

## 名久井 一寿

県土整備部 建築課 建築第一担当  
平成23年度採用

### 異動経歴

H23～ 大田原土木事務所 建築指導担当  
H26～ 宇都宮土木事務所 建築指導担当  
H28～ 現所属



### 色々なかたちで建築物に関われる職業

#### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

県有施設の設計、施工、工事監督業務を担当しており、建築物の設計から実際の工事、その後の点検や修繕等を行っています。現在の職場は若手職員が多く、些細なことでも相談しやすい環境です。また、様々な知識を持った職員と一緒に働いているので、業務での悩みに多様な角度から意見をもらうことができる働きやすい職場です。



#### Q.印象に残っていることは?

初めて担当した新築工事は、他組織との連携が特に重要な案件であったため調整や折衝に苦心しましたが、各担当者や協議・打合せを重ねながら建築物が完成していく過程を体感できたことは、大変貴重な経験になりました。また、設計段階から実際の工事、維持修繕、そして解体と長いスパンで建築物に関われることは、県職員ならではの魅力だと思います。

#### Q.「協働する職員」として実践していることは?

建築物の設計や工事監督業務では、民間の設計事務所、施工会社の方々や打合せを重ねて完成を目指していきます。その際、今まで知らなかった新たな工法を提案していただくことも多く、「協働」してより良いものを一緒に造りあげている実感があります。

# 化学

Ryo Arakawa

## 荒川 涼

環境森林部 環境森林政策課  
環境立県戦略室  
平成19年度採用

### 異動経歴

H19～ 環境保全課 大気環境担当  
H22～ 保健環境センター 大気環境部  
H25～ 地球温暖化対策課 計画推進担当  
H27～ 環境省(地球環境局総務課)へ派遣  
H29～ 現所属



### 技術を生かして、県の環境・経済・社会を支える!

#### Q.これまでどんな業務を担当?

光化学スモッグ注意報発令など大気汚染に関する注意喚起、東日本大震災に起因する放射能の測定、地球温暖化対策の県計画の改定など多様な業務を経験しました。現在は、県のエネルギー施策の推進や、電気自動車及び水素を活用した燃料電池自動車の普及等を担当しています。



#### Q.省庁派遣時にはどんなことを?

環境省に2年間派遣されていましたが、国会答弁や大臣の記者会見資料を作成したり、他省庁の職員と今後の温暖化対策について熱い議論を交わしたことが印象に残っています。また、所属で作成した計画が閣議決定される際、関係全員が集まる場に自らも同席したことは今でも忘れられない経験です。

#### Q.やりがいを感じる時は?

東日本大震災の際は、毎日飲料水の放射能分析をして結果を広報したり、実際に測定している様子を県民の方に見ていただいたり、県民の不安を取り除くための取組を実施しました。このように、自らの業務が身近な生活の安全・安心を守ることに貢献している実感できる時に、大きなやりがいを感じます。

# 薬剤師

Yuto Aoki

## 青木 悠人

保健福祉部 保健環境センター  
企画情報部  
平成22年度採用

### 異動経歴

H22～ 栃木県立がんセンター(※) 薬剤部  
※平成28年度より地方独立行政法人化  
H26～ 栃木健康福祉センター 保健衛生課  
H29～ 現所属



### ジェネラリストからスペシャリストまで

#### Q.これまでどんな業務を担当?

これまで、病院での調剤や服薬指導、薬局や飲食店などの許可等業務、温泉の源泉調査に関する業務などを担当しました。現在は、感染症発生動向調査や、医薬品の試験検査部門が適切に行っているかを確認する信頼性保証部門の業務などを行っています。それぞれの業務は異なる分野に思えますが、一つの経験が他分野の業務に役立つことが多く、ジェネラリストとして貢献できる一方、経験年数が増えればスペシャリストを目指すことができる職場です。



#### Q.印象に残っていることは?

近年、飲食店等を開業したいという海外出身者から相談を受ける機会が増えています。日本語が得意でない場合もあり、翻訳ツールや図、写真等を使用して説明を行ったことがありました。説明に納得され、「ありがとう」と笑顔で言ってもらえたことが印象に残っています。

#### Q.仕事をすることで心がけていることは?

失敗を失敗で終わらせず、そこから考えるように心がけています。若いうちは、上司からサポートしてもらえ一方、自分の考えをアピールすることもできるので、やりがいを感じることができます。職員毎に担当業務は異なりますが、気さくに相談できる雰囲気があり、非常に良い職場環境です。

# 総合土木 (農業土木)

Masato Watanabe

## 渡邊 雅人

農政部 安足農業振興事務所  
企画振興部 振興課  
平成15年度採用

### 異動経歴

H15～ 下都賀農業振興事務所 計画課  
H18～ 芳賀農業振興事務所 整備第二課  
H22～ 上都賀農業振興事務所 整備課  
H25～ 農村振興課 中山間地域担当  
H28～ 現所属



### 農業者とともに歩み、農村の未来を描きます

#### Q.現在の担当業務は?

農業用排水路の維持管理等を行う土地改良区の出組に対して指導助言を行っています。また、市役所や土地改良区等と連携し、農業生産の効率化や生産性の向上を図るため、農業の担い手への農地集積集約を進めるとともに、農地の大区画化や圃場整備の推進を行っています。栃木の食と農を支える、まさに緑の下の力持ちです。



#### Q.「協働する職員」として実践したことは?

豊かな農業・農村を守っていくために、ボランティアを必要としている地域の方とボランティア活動を希望する方を県などが間を取り持った「とちぎ夢大地応援団」という取組があります。私もボランティアの一人として農地周りの草刈りや獣害防止柵の設置などを行い、地域に貢献できた喜びとともに、人と人を繋ぐ役割の重要性を実感しました。

#### Q.仕事をすることで心がけていることは?

依頼や相談に対して真摯に対応することや、課題解決にあたっては関係者の意見や情報を幅広く収集し対応策を検討するよう心がけています。また、一人で行えることは限られていますので、日頃から関係する方々との信頼関係も大切にしています。

# 保健師

Megumi Nohara

## 野原 恵

保健福祉部 健康増進課 難病対策担当  
平成21年度採用

### 異動経歴

H21～ 県東健康福祉センター 健康対策課  
H24～ 県西健康福祉センター 健康支援課  
H27～ 安足健康福祉センター 健康対策課  
H29～ 現所属



### 県民の健康づくりを多角的にサポートします

#### Q.これまでどんな業務を担当?

広域健康福祉センターでは、感染症予防、精神保健福祉、栄養難病の業務を経験し、家庭訪問や面接・電話等での個別相談、地域住民を対象とした健康教育等に従事しました。現在は、指定難病や小児慢性特定疾病の医療費助成の申請、患者・家族支援に係る業務に携わっています。



#### Q.やりがいを感じる時は?

支援が必要な方から直接感謝の言葉をかけていただいた時や、相手の行動に変化が見られた時などに、自分の関わりが相手の助けになったのかもれないと嬉しく思います。県民の方から気軽に相談してもらうためには、相手から信頼を得ることが必要です。そのためには、保健師としての知識や経験を培っていく必要があると日頃から感じています。

#### Q.民間の仕事との違いは?

定期異動により様々な業務に従事することです。保健師としての知識や経験の幅だけでなく、業務を通じて連携する関係者との人的ネットワークも広がります。個々の相談から、地域全体、県全体の課題としてつなげていく広い視野を持つことを心がけ、そのためにも観察力や感性、柔軟さを養うことが大切だと感じています。

# 総合土木 (土木)

Masataka Kobayashi

## 小林 正孝

県土整備部 技術管理課 技術調整担当  
平成19年度採用

### 異動経歴

H19～ 足利土木事務所 道路整備課  
H21～ 足利土木事務所 整備部  
H22～ 道路保全課 道路補修担当  
H25～ 栃木土木事務所 整備第二課  
H29～ 現所属



### とちぎの明日の風景を創ります

#### Q.これまでどんな業務を担当?

土木事務所では、工事の発注、監督や関係機関との調整などに携わり、自分の担当工区のバイパスや橋梁が開通するという貴重な経験をしました。現在は、生産性を向上させる手段としてICT(情報通信技術)を活用した工事の推進を図っており、伝統を維持しながらも、新しい技術へ挑戦していく建設業の仕組みづくりに取り組んでいます。



#### Q.やりがいを感じることは?

自分たちが紙と鉛筆を使って意見を取り交わって計画した事業が、たくさんの方の協力と苦労によって実際の公共施設として完成し、日常的な風景になっていくことです。公共事業を進めるために、大切な土地を提供してもらわなければならないこともありますが、誠意を持って話し合いを重ねたことで理解していただいた時は、達成感を得るとともに責任の大きさを知る良い機会となりました。

#### Q.民間の仕事との違いは?

業務で携わる現場は、指針や基準で答えが求められるものばかりではありません。条件の異なる現場の状況を見ながら確認し、責任をもって判断していきます。最前線の現場と常に向き合い、時には基準そのものを見直すなど仕組み自体も改善していけるのは、県庁ならではの仕事だと思います。



# 畜産

Katsuhiko Sato

## 佐藤 克彦

農政部 畜産酪農研究センター 企画情報課  
平成10年度採用

### 異動経歴

- H10～ 大田原農業改良普及センター
- H12～ 酪農試験場 生物工学部
- H18～ 畜産振興課 環境飼料担当
- H21～ 南那須農業振興事務所 農畜産課
- H22～ 塩谷南那須農業振興事務所
- H24～ 経済流通課 マーケティング対策班
- H26～ 現所属



とちぎの畜産を元気にします!

### Q.これまでどんな業務を担当?

農業振興事務所では、畜産農家への技術支援のほか、市町との地域農業政策推進など、地域の関係者と連携して農業の課題解決等に取り組みました。経済流通課では、本県の牛肉や果物等の輸出促進のため、関係団体と連携して香港等での売り込みや海外パイヤーの招聘に取り組みました。現在は、栃木県農業試験研究推進計画に基づき、本県の畜産農家が活用できる新技術の開発や技術支援を行っています。



### Q.印象に残っていることは?

平成28年8月から4ヶ月間、熊本地震に係る復旧・復興対策のために派遣されたことです。主に肉用牛の放牧施設の復旧業務を中心に携わりました。栃木県職員の間であることやその使命を自覚し、これまでの業務経験をフル活用したことで、想定外の事態があっても滞りなく業務に従事することができました。

### Q.仕事をする上で心がけていることは?

今行っている業務の終着点(目標)を見据え、それに向かって情報収集し、計画を立てて実践することです。また、客観的な視点を踏まえながら、企画立案や明瞭簡潔な資料の作成・説明を心がけ、随時、上司や関係職員に「報告」「連絡」「相談」「提案」するようにしています。

# 職業訓練指導員

Hiroaki Takeda

## 竹田 博昭

産業労働観光部 県央産業技術専門校  
建築設備科  
平成16年度採用

### 異動経歴

- H16～ 県北高等産業技術学校 通信エンジニア科
- H20～ 県央産業技術専門校 制御システム科
- H27～ 現所属



種々の原石を産業界で活躍できる人材に育てる

### Q.現在の担当業務と職場の雰囲気は?

トイレや風呂などの給排水衛生設備、エアコンや冷蔵庫などの冷凍空調機器に関する知識や施工・メンテナンス方法を教えています。担当科内では、訓練生にとって分かりやすい教え方など、職員が互いにアイデアを出し合って検討を重ねています。若手職員とベテラン職員が年齢に関係なく積極的に意見交換ができる環境です。



### Q.やりがいを感じる時は?

毎日の訓練の中で目標が達成できた時の訓練生の喜ぶ顔、卒業式で2年間の訓練を成し遂げた誇らしげな顔、仕事の苦労話を語ってくれる真剣な顔など、教え子の成長していく顔を見る瞬間が一番のやりがいです。また、「卒業した訓練生は、やる気もあり前向きで頼もしい」と就職先の企業の方に言われた時は、嬉しさと同時に一人前の技能者を育てなければという使命も強く感じました。

### Q.仕事をする上で心がけていることは?

目標達成に向け、前例にとらわれず、あらゆる方法を考えることを心がけています。例えば、訓練の指導方法について、先輩のやり方、時には後輩のやり方も参考にしながら、訓練生にとって最善の方法で指導するようにしています。

# 電気

Takanori Nakazato

## 中里 喬紀

企業局 水道課 施設担当  
平成24年度採用

### 異動経歴

- H24～ 今市発電管理事務所 板室管理支所
- H27～ 北那須水道事務所 施設課
- H28～ 岩手県へ派遣
- H29～ 現所属



電気と水の安定供給で県民生活を支えます

### Q.現在の担当業務は?

市町や企業に水道用水や工業用水を安定供給するため、施設の維持管理や更新に関する技術の検討、出先機関の水道事務所や工事関係機関との調整を行っています。また、生活に欠かすことのできないライフラインを預かる立場ですので、将来を見据えた中長期的な施設更新計画の作成にも携わっています。



### Q.これまでどんな業務を担当?

発電管理事務所では水力発電所の点検や工事監督を、水道事務所では浄水場の維持管理のほか浄水場見学者への案内も業務の一つとして行ってきました。計画的な機器の修繕や突発的な故障の対応も行います。一つの部署で工事の設計だけでなく、保守管理も自分たちで行うことは民間企業と違うところだと思います。

### Q.印象に残っていることは?

平成28年度から1年間、東北三県災害復興派遣の一人として東日本大震災で被災した岩手県の沿岸部で津波対策設備の設置工事監督を行いました。海岸施設の整備という、栃木県では経験できない業務に携わることができたことは、大変貴重な経験となりました。

# 警察行政

Hiroimi Ishikawa

## 石川 裕美

警察本部 警務部 警務課  
平成16年度採用

### 異動経歴

- H16～ 氏家(現さくら)警察署 交通課
- H19～ 大田原警察署 交通課・会計課・警務課
- H24～ 矢板警察署 会計課
- H25～ 警察本部 地域部 地域課
- H26～ 警察本部 警務部 会計課
- H27～ 現所属



警察官とともに栃木県の安心安全を守ります

### Q.現在の担当業務は?

採用業務を中心に行っています。警察官・警察行政の仕事を知ってもらうため、体験型説明会などを開催し、警察業務の魅力ややりがいをアピールしています。また、全国の大学や県内の高校にも積極的に訪問して学生の皆さんにPRし、一人でも多くの人に受験してもらえるよう活動しています。



### Q.印象に残っていることは?

警察署勤務時に、交通窓口業務や遺失拾得業務を担当していました。ある時、落とし物として扱った老眼鏡が、実は落とし主の家族の形見であり、涙を流しながらお礼を言われたことがありました。これまで日々届く落とし物の一つでしかなかったものが、落とし主にとっては唯一無二のものであったこと、また、それほど大切なものを扱う仕事なのだということを改めて痛感しました。

### Q.受験を考える皆さんにメッセージを!

「公務員試験は難しい」「警察の仕事は大変そう」と思われるかもしれませんが、まずはチャレンジしてみることが大切です。初めから何でもできる人はいませんが、誰もが初心者からのスタートです。ぜひ、私たちと一緒に栃木県警で働きましょう。

# 先輩職員メッセージ

豊富な経験を持ち、課をまとめる立場の職員から、皆さんへのメッセージです。



## 県民生活部 広報課長 野原 恵美子

Emiko Nohara

昭和61年度採用 総務部 文書学事課

H22年 環境森林部 環境森林政策課 企画調整担当 副主幹  
H24年 総合政策部 総合政策課 政策企画担当 課長補佐  
H26年 総合政策部 総合政策課 課長補佐(総括)  
H27年 総合政策部 総合政策課 政策調整監  
H29年 県民生活部 広報課長



### 《県民の方々の立場に立って》

県職員の魅力の一つは、人事異動を通じて様々な業務に挑戦でき、その都度、新たな出会いが視野を広げ、知識を深めてくれることだと思います。私も企画、県民生活、環境、福祉、土木など多様な分野に携わってきましたが、どの仕事にも共通して重要なことは、「県民目線」や「現場感覚」を判断基準とすること。現在は広報課で、県民の方々の県政への提案・要望を丁寧に受けとめ、広報紙やメディアを活用して必要な県政情報を分かりやすく伝えるよう努めています。

### 《大切なことはコミュニケーション》

これまで出会った多くの先輩や同僚、または民間の方からの指導や助言、協力があったから、今の立場があると思っています。私たち一人ひとりがオールマイティーであることは困難で、様々な個性や知恵の相乗効果によって多くの成果を生み出す、それが組織です。大切なのは、聴く力、そして伝える力である「コミュニケーション能力」。そのため、職位の上下にかかわらず何でも自由に話せる職場づくりに取り組んでいます。

### 《私なりのワークライフバランス》

栃木県は、知事をはじめ全ての管理職が「イクボス」となって誰もが仕事と家庭の両立ができるよう取り組んでいます。また「県庁女性燦燦プラン」により、女性が活躍できる環境づくりも進められていますので、子どもを持ちたい女性も安心してキャリアを積むことができます。実際には育児との両立は大変なこと多いと思いますが、メリットもたくさんあります。私も、限られた時間を有効に使う工夫や地域の方々との交流など、子育て中の経験は今につながっています。大好きな音楽も、子どもの習い事や部活動などを通じて存分に楽しむことができました。子育てが落ち着いた最近では自分の時間も増え、リフレッシュに友人と音楽や演劇等の鑑賞を満喫しています。

### 《プラス思考で》

仕事をしていく上で最も大切なことは、自分で考え、そして「プラス思考」で取り組むこと。栃木県は、多くの魅力・実力のある県です。是非、みなさんの栃木県への熱い思いをアイデアに変えて、国内外からも“選ばれるとちぎづくり”と一緒に進めてみませんか。

### 《やりがい》

農業職の主な仕事は、新品種・新技術や各種事業等を活用して、農業者や産地における高品質な農産物の生産や付加価値向上の取組を促し、農業所得を確保するとともに、消費者に安全・安心な食を提供することです。農業者や消費者の笑顔につながり、世の中の役に立てている実感が得られる、やりがいのある仕事です。いちごや麦の新品種を産地化していく仕事では、農家の皆さんの喜ぶ姿や、作付けがどんどん増えていく現場を見た時に、それまでの苦労が一気に吹き飛ばすほどの充実感が得られました。

### 《チャレンジ、そして成長》

経験を積んでくると、徐々に責任のある仕事を任せられるようになります。上司や同僚も親切にアドバイスしてくれますので、少し背伸びをしてチャレンジすることが大切です。まず、現場の声に耳を傾け、企画・提案し実行していきます。自分の考えを持ちながら、前向きな姿勢で取り組むことがポイントです。こうして数々の試練を乗り越えていくと、仕事が面白くなってきますし、実力も身につけてきます。また、人との出会いが人間的にも成長させてくれます。皆さんにも私達と働いて、仕事の面白さを感じながら成長して欲しいと思います。

### 《趣味でリフレッシュ》

若い頃はテニスやバードウォッチングを楽しんでいました。40歳の時に、釣りに目覚めてから、週末は鬼怒川や湖に出かけています。大自然の中でルアーを投げていると、頭の中が空っぽになって、いい気分転換になります。また、SNSで、釣りのエピソードや食べ歩き情報を発信して、微力ながら栃木のPRにも努めています。休暇の取得はもちろん、プライベートの時間がしっかりと取れるのも県職員のいいところです。

### 《県職員を目指す方へ》

自然に恵まれ、農林業や観光業、製造業が盛んで、暮らしやすい栃木を、もっと良くしていきたいと思っている方、私たちと一緒に栃木県を盛り上げていきませんか。皆さんと一緒に働く日が来ることを心待ちにしています。



## 農政部 経済流通課 農産物ブランド推進班長

## 熊田 欽丈

Yoshitake Kumada

昭和63年度採用 農務部 農業試験場病理昆虫部



H25年 農政部 農政課 企画調整担当 課長補佐  
H27年 農政部 農村振興課 中山間地域担当 課長補佐  
H28年 農政部 生産振興課 課長補佐(総括)  
H29年 農政部 経済流通課 農産物ブランド推進班長



# 働きやすい職場環境

同じ職場で働く3人の職員に、県庁での「働き方」についてお聞きしました。

## 【環境森林部 地球温暖化対策課 環境学習・保全活動担当】

環境学習や環境保全活動の推進のほか、緑化推進に関する業務や「COOL CHOICE とちぎ」県民運動により温暖化対策を進めていく取り組みを実施しています。

### 大橋 禎恵

Yoshie Ohashi  
平成3年度採用



#### 異動経歴

- H3～ 公害研究所 水質部
- H6～ 下水道公社派遣
- H9～ 保健環境センター 水環境部
- H17～ 都市整備課 下水道室
- H21～ 環境保全課 水環境担当
- H24～ 環境森林政策課 環境立県戦略室
- H25～ 環境森林政策課 企画調整担当
- H27～ 県東環境森林事務所 環境対策課
- H29～ 現所属



### 野中 一樹

Kazuki Nonaka  
平成16年度採用

#### 異動経歴

- H16～ 佐野土木事務所 用地部
- H19～ 教育委員会事務局 教職員課 総務担当
- H22～ 県南健康福祉センター 福祉指導課
- H25～ 環境省へ派遣
- H27～ 現所属



### 杉山 彩香

Ayaka Sugiyama  
平成23年度採用

#### 異動経歴

- H23～ 広報課 広報担当
- H27～ 現所属



## <活気があり、風通しのいい職場>

**大橋** 二人は配属されて3年目になり、担当業務にも随分と慣れている様子で心強いです。そんな二人から見たこの職場の雰囲気はどうですか？

**杉山** 色々な職種の人と一緒に仕事をしていますが、打合せをしても様々な視点や考え方があって、日々刺激を受けています。

**野中** 打合せの時とか話が止まらなくなるときもありますよね。

**杉山** 活気のある雰囲気、仕事の進め方など周りの先輩に相談しやすいです。

**大橋** 確かに風通しのいい職場ですよ。この職場は比較的若い職員が多いけど、新しい仕事にも意欲的に取り組む姿がとても頼もしいです。グループリーダーとして、私も担当内のあらゆる課題をみんなが「自分事」として考えられるように、議論の場や時間をつくることを心がけてます。これからも、チームで仕事をしていくことを大切にしていきたいですね。

## <サポートがあるから安心して頑張れる>

**杉山** 野中さんは、今まさに育児の真っ最中ですよ。

**野中** 3歳の娘がいるのですが、毎日賑やかですよ。大部分は妻に担ってもらっているけど、子どもの着替えを手伝ったり、朝食の準備など、協力しています。仕事と育児の両立はなかなか大変だけど、家族全員で食事をしたり、一日にあったことなどを話したりして家族の笑顔を見ると、明日も頑張らなくては!という気持ちにもなるし、家族に対する感謝の気持ちも強くなります。

**大橋** 家族の存在って大きいですよ。私も育児中は家族の協力があつたからこそ仕事を頑張ってきた。それぞれの状況は違うけど、様々な家庭の形があるからこそ、事情に応じた働き方をしていくことが大切だと思うし、それに対する職場のサポートがあって「家庭と仕事の両立」が可能になるんじゃないかと思っています。

**野中** 確かに。私も子どもが急に熱を出して、看病のため時間休を取得したことがあります。上司や同僚の理解もあるので、休暇を取りやすい雰囲気だと感じます。産休や育休はもちろんですが、育児のための部分休業だったり、短時間勤務だったり、その人に合った制度が活用しや

すい環境になっていますよね。

**杉山** 出産や子育てをはじめ、これから様々なライフステージを迎えようとしている人たちにとって、そういった職場の雰囲気や制度は心強いサポートになると思います。お話を聞きながら、県庁は男性女性ともに安心して働き続けられる職場なんだということを確認できました!

**大橋** 周りの職員を見ていると、そういった制度を活用してメリハリのある生活をしている人が増えてきたな、と感じています。職場全体でサポートしていくことが大切ですね。

## <お互いに支え合って>

**野中** 年々、男性職員で育児休暇をとる方も増えてきていますよね。今は共働きの家庭も多いので、家族で協力しながら育児をしていくことはとても大切だと思います。大変なことも多いだろうけど、それ以上に子どもとの絆が深まるかけがえのない時間になると思います。

**杉山** 男性が育児に「参画」というよりは、男性と女性が育児を「協働」することが大切なんじゃないかと思っています。男性の育休については少しずつ意識が変わってきていると思いますが、もっと浸透すればいいな、とも感じます。

**大橋** そうですね。「できる人がやる」のではなく、「関わる人全員が意識してやる」ということから始めていけば、きっと多くの人の意識が変わっていくと思います。

**野中** 私の周りでも、お互いの仕事を理解した上で、繁忙期ではない方が休暇を利用して子どもの急な体調不良に対応するなど、協力して育児を行っている方も多いです。

**杉山** 家族で力を合わせて育児に取り組むのが当たり前になるよう、まずは私たち県職員が意識改革から率先して取り組むことが必要ですね。

**大橋** 仕事が忙しいと、つい頑張りすぎてしまうこともあるけど、仕事は必ずしもその人じゃなければならないということはなく、周りの仲間がフォローしてくれる体制ができています。でも、家庭においてのその人は、絶対に代わりがきかないんですよね。だからこそ、チームで仕事をしているメリットを活かしながら、皆それぞれの「家庭と仕事」が両立できるような働き方をしていきましょう。

## 子育て応援に関する制度

栃木県では、男性職員も、女性職員も、子育て中の職員も、そうでない職員も、職員一人ひとりが仕事にも子育てにも喜びが見いだせる職場、互いに支援し合える職場、誰もが生き生きと働ける職場を目指し、仕事と子育ての両立を支援する制度の充実を図っています。

主な制度等	男性	女性	内容・利用期間等
出産休暇(産前産後休暇)		○	産前8週間、産後8週間
妻の出産休暇	○		入院等の日から出産の日後2週間以内に3日の範囲内、時間単位の取得も可能
妻の出産時の子の養育休暇	○		出産の前8週間の間で5日の範囲内、時間単位の取得も可能
育児休業	○	○	子が3歳に達する日まで
育児のための部分休業	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合:1日を通じて2時間を超えない範囲内
育児短時間勤務	○	○	小学校就学前の子どもを養育する場合:希望する日及び時間帯において短時間勤務することが可能
育児時間休暇	○	○	2歳未満の子どもを養育する場合:1日2回を超えず合計90分の範囲内
子の看護休暇	○	○	中学校就学前の子を看護する場合: 5日の範囲内(小学校就学前の子が複数いる場合は10日)、時間単位の取得も可能

また、男性職員の育児参加を促進するための「男性職員の育児参加プログラム制度」などもあります。平成28年度の一般部門における育児休業の取得率は、女性職員100%、男性職員は8.6%であり、平成29年度には6名の男性職員が育児休業を取得しています。

## Q1 給与について教えてください。

**A** 初任給は、右の表のとおりとなっています（平成29年4月現在）。

勤務経験がある場合や、大学院を修了している場合には、勤務経験年数や学歴に応じて、一定の基準により加算されます。

要件に応じて、扶養手当、地域手当、通勤手当、超過勤務手当などが支給されます。また、民間のボーナスにあたるものとして、期末・勤勉手当が6月と12月の年2回、合計で4.3ヵ月分が支給されます（在職期間等によって異なります。）。

原則として年に1回、勤務成績等に応じて昇給があります。

修士課程修了者	研究職	219,500円
	医療職(2)	203,600円
6年制大学卒	医療職(2)	209,900円
	行政職	184,800円
4年制大学卒	研究職	201,300円
	医療職(2)	190,700円
短大卒	行政職	161,700円
高校卒	行政職	150,500円

研究職は、試験場、研究所等勤務で、試験研究又は調査研究業務に従事する化学、農業、林業等に、医療職(2)は、病院、保健所等に勤務する薬剤師、栄養士、臨床検査技師等に適用

## Q2 勤務時間や休日・休暇はどのようになっていますか。

**A** 勤務は原則として、午前8時30分から午後5時15分までですが、ワーク・ライフ・バランスの確保や通勤混雑の緩和、環境負荷の低減等を目的として、一部の職場を除き、オフピーク通勤（時差出勤）を選択することもできます。

完全週休2日制となっており、一部の施設等に勤務する職員等を除き、土曜日と日曜日は週休日となっています。

年次休暇（有給休暇）は年度ごとに20日が付与されます。この他にも、夏季休暇、結婚休暇、産前・産後休暇等の特別休暇や、介護休暇・育児休業制度等があります。

## Q3 配属先はどのように決められますか。

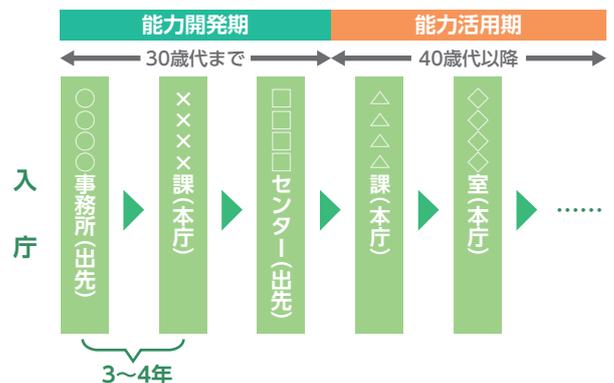
**A** 配属先は、職種（行政職・技術職）や能力、適性、意欲のほか、通勤事情なども考慮して決定されます。

## Q4 人事異動はどのように行われますか。

**A** 職種により違いはありますが、行政職の場合、おおよそ3～4年のサイクルで異動があります。

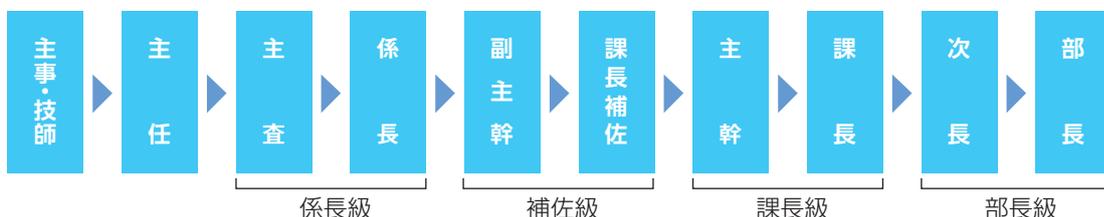
能力開発期では、幅広い能力開発や自己の適性が発見できるよう、本庁・出先機関で異なる分野を経験します。能力活用期では、それまでの職務経験や本人の意欲、適性等を重視した配置となります。

また、異動にあたっては、毎年1回希望する職場や職務内容について所属長と面談する制度を設けています。自分のキャリアプランについてアドバイスを受けるとともに、異動の希望を申告することができます。



## Q5 どのように昇任するのですか。

**A** 昇任は、職員の能力や勤務成績、経験年数を総合的に評価して行われます。行政職も技術職も基本的には同様です。



# 研修制度

県職員には高度の専門性や様々なスキルが要求されますが、それらを養成する研修が充実しており、以下の4本柱で構成されています。

## ■ 研修所研修

### ● 必修研修

新採用職員研修などの基本研修と、各階層に期待される能力を昇進前に開発することを目的とした能力開発研修があります。新採用職員研修では、県行政に関する講義やビジネスマナー等を通して県職員としての基本的な知識やスキルを習得するとともに、グループワークや宿泊研修により、同期入庁者との絆を深める機会となっています。



新採用職員後期研修

### ● 特別研修

政策形成能力の向上を目指す政策立案研修や、会議を円滑に進めるための手法を学ぶファシリテーション能力向上セミナー等を開講しています。

## ■ 派遣研修

中央省庁における政策形成に関する業務や民間企業の経営感覚に基づく事業展開など、県内部では経験できない業務に従事し、能力の開発を図ることを目的とした研修を実施しています。研修の種類としては、中央省庁派遣研修、民間企業等派遣研修、県外自治体派遣研修、県内市町村派遣研修があり、いずれも公募制で希望者を募集しています。

### <平成29年度における職員の主な派遣先>

内閣府、総務省、外務省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省、環境省、全国知事会、茨城県、県内9市町  
(株)足利銀行、東日本旅客鉄道(株)、日産自動車(株)、東京海上日動火災保険(株)、三菱商事(株)、(株)JTB国内旅行企画、(株)高島屋

## ■ 自己啓発支援

県行政に関連する事項について自主的に研究を行う職員のグループに対する研究活動経費の一部助成支援を行っています。また、指定通信教育機関が実施する講座を受講できる制度や、自治大学校等がインターネット上に開設している講座をオンラインで受講することができるe-ラーニング研修も用意されています。

## ■ 職場研修

いわゆるOJTです。新採用職員は配属された職場で実務に携わりながら、事務処理のスキルを身につけていきます。県は所管する法令・制度が多岐にわたっているため、それぞれの部局等において、所掌する事務に必要な研修を実施しています。

# インターンシップ……県の仕事を体験



先輩との交流会の様子

栃木県では、学生のインターンシップ受入れを行っています。平成29年度は行政職向け69所属、技術職向け39所属で募集を行いました。

インターンシップでは、データ集計や資料作成、会議の準備や現地調査など、受入所属によって様々なメニューや実習テーマが用意されています。

県庁を身近に感じ県の仕事を理解するのに、またとない機会です。

参加申込みは在籍する教育機関を通じて受け付けますので、詳しくは経営管理部署人事課のホームページを御覧ください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/b02/pref/zaiseijinji/jinji/internship-bosyu.html>



※インターンシップ参加の有無は、職員採用試験の可否には一切関係ありません。

## 平成29年度参加者の感想

### 《所属実習》

- 5日間はあっという間で、県庁の他の仕事についても知りたいと思った。公務員のイメージが良い方向へ変わった。(行政職向け)
- 現場で受注側、発注側、双方の話を聞いたり、会議に出席したりする中で、自分の意見を自分の言葉で表現することの大切さと難しさを体感し、刺激を受けました。(技術職向け)
- 生物多様性の保全や獣害対策、観光地の環境保全など幅広い分野で事業を行ったり、様々な機関と関わりながら事業を進めたりと、県の活性化のために働いていくことはやりがいがあると思った。(技術職向け)
- 実際の業務を経験することで、栃木県の農業の現状や魅力について知ることができ、改めて県職員になりたいと決意した。また、業務のみでなく、社会人としての心構えも伺うことができ、言葉では尽くせない程の学びに満ちた経験となった。(技術職向け)

### 《先輩との交流会》

- インターネットや本で見ると違い、県庁の方の生の声を聞くことができ、非常に良い機会だった。(行政職向け)

### 《最終日の報告会》

- できれば何度でもインターンシップに来て、様々な課に行きたいと思うほど、他の課も魅力的だと思った。(行政職向け)



技術職向けインターンシップの様子

# 採用試験受験の手引き

## STEP1 募集職種や募集人数、試験案内などの情報収集

人事委員会事務局のホームページから情報を収集できます。  
情報の提供時期はおおむね右のとおりです。



<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/top.html>

試験の種類	募集職種	募集人数	試験案内
大学卒業程度 資格・免許職(保健師、管理栄養士) 選考考査(獣医師等)			4月中～下旬
高校卒業程度 資格・免許職(上記以外) 社会人対象 選考考査		4月中～下旬	6月中旬

試験案内を必ず読んでください。

試験の種類によって、受験資格(年齢や資格・免許の有無など)や試験種目・出題範囲・配点などが異なります。

## STEP2 受験申込み

受験申込みは、インターネット(電子申請)をご利用ください。

パソコン、スマートフォンから申込みできます。事前に利用環境と注意事項をよく読んでください。

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/k02/pref/saiyou/kenshokuin/moushikomi.html>



## 採用までの流れ

平成29年度大学卒業程度採用試験を例に説明します。

試験の種類や実施年度によって異なる場合がありますので、試験案内で確認してください。



# 栃木県職員等過去5年間の募集状況 (平成25~29年度)

## 【大学卒業程度】

職 種	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
行 政	60名程度	65名程度	68名程度	83名程度	82名程度
薬 劑 師	3名程度	5名程度	5名程度	4名程度	4名程度
化 学	5名程度	5名程度	3名程度	6名程度	3名程度
農 業	8名程度	8名程度	11名程度	7名程度	8名程度
畜 産	1~2名	3名程度	1~2名	1~2名	1~2名
林 業	7名程度	5名程度	6名程度	7名程度	5名程度
総 合 土 木	30名程度	28名程度	23名程度	24名程度	25名程度
建 築	4名程度	5名程度	5名程度	3名程度	1~2名
電 気	1~2名	3名程度	4名程度	5名程度	1~2名
機 械	3名程度	1~2名	1~2名	5名程度	—
心 理	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
水 産	—	1~2名	—	1~2名	—
警 察 行 政	15名程度	8名程度	5名程度	6名程度	6名程度
小 中 学 校 事 務	13名程度	21名程度	20名程度	27名程度	22名程度

## 【高校卒業程度】

職 種	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
行 政	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度	5名程度
建 築 ( 警 察 本 部 )	—	1~2名	—	—	—
警 察 行 政	8名程度	4名程度	1~2名	3名程度	6名程度
小 中 学 校 事 務	4名程度	6名程度	5名程度	7名程度	5名程度

## 【資格・免許職】

職 種	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
保 健 師 ( 知 事 部 局 )	3名程度	3名程度	1~2名	5名程度	11名程度
保 健 師 ( 警 察 本 部 )	—	1~2名	—	—	—
臨 床 検 査 技 師	1~2名	—	1~2名	—	—
診 療 放 射 線 技 師	—	1~2名	—	—	—
理 学 療 法 士	—	—	1~2名	7名程度	—
作 業 療 法 士	1~2名	1~2名	—	5名程度	—
管 理 栄 養 士	—	1~2名	1~2名	—	—
栄 養 士 ( 小 中 学 校 )	1~2名	1~2名	1~2名	5名程度	8名程度
司 書	—	—	1~2名	1~2名	—
保 育 士	1~2名	3名程度	—	1~2名	—

## 【社会人対象】

職 種	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
総 合 土 木	5名程度	5名程度	5名程度	1~2名	3名程度
建 築	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	—

## 【選考考査】

職 種	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
歯 科 衛 生 士	—	—	1名	—	—
言 語 聴 覚 士	—	1~2名	—	4名程度	—
精 神 保 健 福 祉 士	—	1名	1~2名	1~2名	1~2名
職業訓練指導員(機械系)	1~2名	1~2名	1~2名	2名程度	2名
職業訓練指導員(接客サービス系)	—	—	—	1~2名	—
獣 医 師	5名程度	7名程度	8名程度	8名程度	13名程度
織 維 工 業 技 術 者	—	—	—	1~2名	—
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 技 術 者	—	—	—	—	1~2名
学 芸 員 ( 日 本 画 )	—	1名	—	—	—
学 芸 員 ( 版 画 )	—	—	1名	—	—
学 芸 員 ( 日 本 美 術 史 )	—	—	—	—	1~2名
博 物 館 資 料 専 門 員 ( 古 生 物 学 )	1名	—	—	—	—
博 物 館 資 料 専 門 員 ( 無 脊 椎 動 物 )	—	—	1名	—	—
航 空 整 備 士 ( 回 転 翼 航 空 機 )	—	1名	1名	—	—
犯 罪 鑑 識 技 術 者 ( 法 医 )	—	1名	—	—	—
犯 罪 鑑 識 技 術 者 ( 化 学 )	1名	—	1名	1名	1~2名
犯 罪 鑑 識 技 術 者 ( 物 理 )	—	—	—	1名	1~2名
犯 罪 鑑 識 技 術 者 ( 心 理 )	—	—	1名	—	—
少 年 補 導 職 員	—	1名	—	—	—
行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	6名程度	6名程度	5名程度	4名程度	3名程度
警 察 行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名	1~2名
小 中 学 校 事 務 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	1~2名	1~2名	1~2名	3名程度	1~2名

この表に記載のない次の職種については、●看護師 栃木県保健福祉部病院経営管理室 TEL 028-623-3158  
各担当課にお問い合わせください。 ●児童自立支援専門員 栃木県保健福祉部保健福祉課 TEL 028-623-3088

# 平成29年度栃木県職員等採用試験・ 選考考査実施状況

## 【大学卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	660	485	212	91	5.3
薬 劑 師	17	11	10	5	2.2
化 学	44	27	10	3	9.0
農 業	47	39	23	10	3.9
畜 産	12	10	8	2	5.0
林 業	24	20	13	7	2.9
総 合 土 木	73	62	41	28	2.2
建 築	17	12	7	3	4.0
電 気	23	14	8	2	7.0
心 理	11	8	4	2	4.0
警 察 行 政	49	36	18	7	5.1
小 中 学 校 事 務	251	193	67	22	8.8

## 【高校卒業程度】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
行 政	62	54	15	5	10.8
警 察 行 政	36	34	18	8	4.3
小 中 学 校 事 務	55	51	14	6	8.5

## 【資格・免許職】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
保 健 師 ( 知 事 部 局 )	34	30	29	13	2.3
栄 養 士 ( 小 中 学 校 )	61	50	24	8	6.3

## 【社会人対象】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
総 合 土 木	14	11	8	4	2.8

## 【選考考査】

職 種	申込者数	受験者数	第1次合格者数	最終合格者数	最終倍率
精 神 保 健 福 祉 士	5	4	3	1	4.0
職業訓練指導員(機械系)	4	4	4	3	1.3
獣 医 師	14	11	11	9	1.2
学 芸 員 ( 日 本 美 術 史 )	17	17	5	2	8.5
埋 蔵 文 化 財 発 掘 調 査 技 術 者	12	9	4	3	3.0
犯 罪 鑑 識 技 術 者 ( 化 学 )	29	21	5	2	10.5
犯 罪 鑑 識 技 術 者 ( 物 理 )	7	5	5	1	5.0
行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	16	13	9	2	6.5
警 察 行 政 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	5	5	3	0	—
小 中 学 校 事 務 ( 身 体 障 害 者 対 象 )	9	6	5	1	6.0

問  
い  
合  
わ  
せ  
先

## 栃木県人事委員会事務局

〒320-8501 宇都宮市埜田1-1-20 南館1階  
TEL 028-623-3313 FAX 028-623-3318  
e-mail jinjiin@pref.tochigi.lg.jp